

Change

変わりゆく福祉と向き合い挑戦しつづけます

Challenge

Change



Concept

変わっていく、福祉の仕事

変えていく、私たちみんなで



2



今、世の中は加速度的に変化を遂げています。人の価値観の変化、テクノロジーの進化、経済活動のグローバル化。

そんな環境の中で、福祉のあり方、福祉社会の目指すものもまた、日々変化を続けています。障害者支援や老人介護のあり方やニーズ、そこでの働き手や組織など当事者だけで完結するのではなく、いかに地域に溶け込み、地域に貢献しながらどのように共生していくのか。

私たち大阪府障害者福祉事業団は、そんな問いかけに対して、福祉という仕事・価値観を横断的にとらえ、人と人、私たちとその周りを取り巻く環境とともに考えをめぐらせ、あらゆるチャレンジを行いながら成長していく組織です。

変わっていく環境に流されるのではなく、新たなチャレンジで自ら変えていく。そういった前向きな力を大切に、日々人々を笑顔にするための努力をしつづけています。



Challenge

3

About us

その人の人生を、 寄り添いながら支える、 そんな福祉のあり方を目指して

私たちの仕事の先には、それぞれの人生があり、成長があり、変化があり、出会いや別れがあります。その家族や関わる人とともに、必要な支えを提供できる、そんな組織であることを目指し、ライフステージに合わせた支援体制を整えています。



幼児期 学齢期

たくさんの学び、たくさんの遊びが必要な幼児・学齢期。それぞれの生活のサポートをしながら、ともに遊びながら、できることを増やし成長の手助けになることを大切にしています。一緒に過ごす時間の中で、すすくと育つ喜びを、家族と本人自身と分かち合うことがなにもにも代えがたいやりにつながります。

4



青壮年期

それぞれの特徴・個性を尊重しながら、社会と関わり生きていくための支援が必要な青壮年期。地域社会で働くことの喜び、他者となにかをやり遂げる喜び、自分自身でなにかをやり遂げる喜び、たくさんの選択肢をともに選びながら、「共生」の支援に力をいれています。



高齢期

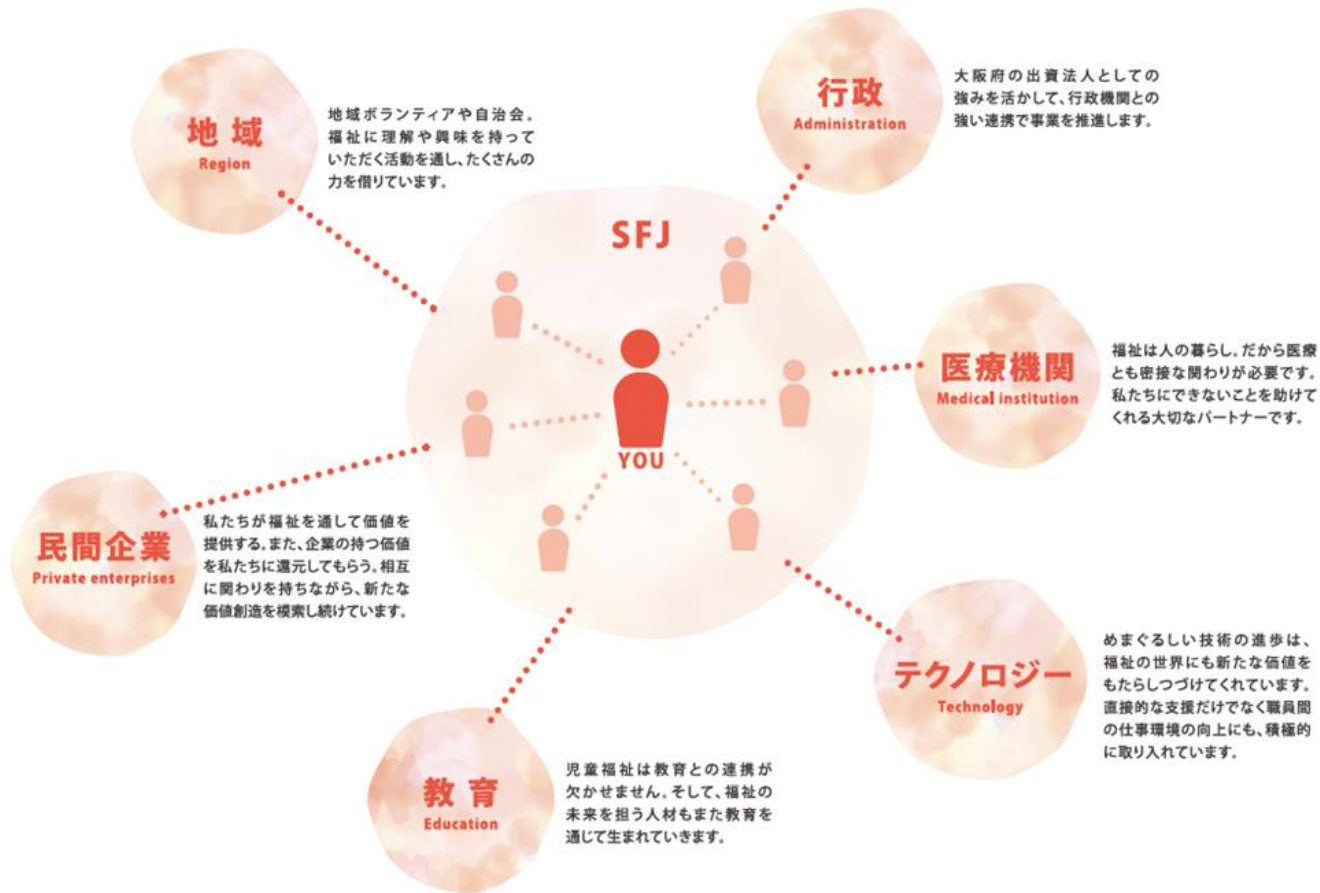
地域社会との共生を回りながら、生活そのものにも大きな支援が必要になる高齢期。肉体的な健康・精神的な健康をサポートするために、たくさんのレクリエーションを通して元気に、健やかに、自分の暮らしを全うするための支援を行っています。利用者それぞれのペースを大切に、暮らしのすべてを支援します。

Community

**一人でできる仕事はない
仲間と、地域と、“ともに歩む社会の実現”を目指し
新たな取り組みに挑戦し続けています**

一人でできる仕事は小さいと私たちは考えています。しかし一人ひとりの力はとても大切に偉大です。
組織のタテとヨコのつながりはもちろん、地域社会とのつながりを持ち、その中で一人ひとりが力を発揮していく。
その繰り返しが私たちの挑戦を成功に導き、地域とともに歩む福祉社会をつくりあげると確信しています。

6





最新の技術を 取り入れて 笑顔をつくる

AIやロボット工学の技術はどんどん福祉の世界に進出しています。人の力では補いきれない力仕事や、支援を受ける方のストレスを少なくするための方法をテクノロジーで解決しています。私たちも積極的に取り入れながら、支援を受ける方の暮らしを少しでも快適にできるよう努めています。最新のお風呂リフトもその一つ。体が思うように動きにくい方の入浴は、入浴をされる方にも支援者にも大きな負担を揃してきました。しかしこのロボットを導入後は、入浴を楽しみにしてくれる入所者の方が大幅に増えることになりました。

高齢者
介護

×

テクノ
ロジー

=

笑顔

8

医療機関との 融合で、新たな 支援体制を構築

暮らしの支援を行う福祉事業の中で、重症心身障害児(者)の支援は難易度の高いものです。常に医療・治療を必要とする方々は、病院に入院しながら同時に適切な支援を必要としているからです。

しかし、利用者一人ひとりが豊かな人生を歩んでほしいとの想いを実現するために、私たちは医療機関と密接な関わりを持つことを選びました。医療機関の中に福祉の機能を取り込むのではなく、福祉機関に医療の機能を取り込むことで、生活の場に医療の技術・知識を融合させました。

大阪府障害者福祉事業団として医療型障害児施設の運営をスタートすることで私たちが支援できる方の領域が広がることとなりました。

医療
機関

×

福祉

=

より安心で
豊かな生活へ





地域に とけこむための 支援を

私たちは、以前入所施設内の生活の質を豊かにすることを主目的に努力してきました。しかし、一人ひとりの望む豊かな人生の選択肢として、地域社会の中で暮らすということも必要だと考えました。

支援が必要な方でも、サポートをすることで普段の生活を自分自身で行い、地域の中で関わりを持って生活するための支援に乗り出しました。まずは生活の基盤となるグループホーム、そして活動の場を地域に用意。日々の暮らしを安心して過ごせるようにしながら、地域でできる仕事とつなげることで、地域社会の一員として生活するための支援を行っています。



10

つながりが 生み出す、 新しい価値

私たちの周りには、地域や民間企業、ほかの福祉法人や団体など様々な力を持った仲間がいます。私たちだけではできないようなことも、つながりを持って協力しあうことで新しい時間や価値を生み出すことができます。

普段はふれあえない人たちとの出会い、一緒に楽しめる催し、福祉そのものを知ってもらう機会、支援を受ける人も、そうでない人もともに時間を過ごすことで、次につながる価値を見出し、ともに成長する地域社会をつくるための大切なステップとなっていきます。



複数の社会福祉法人が
イオンモールで出店、
自主製品を販売



複数の事業所と協同で
コンサートを開催
障がいのある仲間たちと
ひとときの楽しみを味わう



近隣の農村医院と連携し、
訪問型サービスにて受診中





Recruiting

いっしょに成長して
福祉のスペシャリストになろう



12

こんなことを大切にする職場です

いろいろなことにチャレンジしたい。人と一緒になにかを成し遂げたい。

学んで感じて成長したい。福祉という仕事のいろいろな側面に触れたい。

新しいことに関わりたい。人のためになる仕事をしたい。自分にできることを増やしたい。

人に必要とされたい。関わる人の人生に貢献したい。仲間と楽しく仕事がしたい。



ライフプランに応じた多様な働き方をサポート



総合職

施設長を目指し、福祉の様々な部分に触れながら成長していきます。大阪府内全域を対象に、経験を積みながら福祉事業への理解を深め、組織のリーダーへ。



指定職

特定のエリアを勤務地として選び、働くスタイルです。その中で成長のためにしっかりと仕事にトライしていきます。



限定職

市町村レベルに勤務地を絞り、生活基盤を保ちながら仕事をするスタイルです。市町村にある施設に合わせた業務内容で、自分のペースで成長していきます。

※職種間の転換制度もあります。

やりがいのある仕事を

もっと仕事に向き合うために、
自分自身を知っていきたいと思うように。

1年目は必死に仕事を覚える日々でした。しかし職場の先輩に助けられる恵まれた環境の中、徐々に利用者さんと関わっていく仕事を通して、笑顔になれる場面が増えていきました。もっと利用者さんと向き合って仕事をできるようにするために、知識はもちろん自分自身の価値観や気持ちの癖を知って、利用者さんや福祉の仕事に深く向き合っていきたいと思っています。

ひとりひとりと向き合うことで、
もう一步踏み込んだ発想が持てる。

入社当初は、先輩や上司に言われたことをこなすことで精いっぱいでした。しかし、先輩に相談しながらも、施設利用者一人ひとりのために一番よい方法を考え続けることができ、責任感も増しました。今は積極的に新しい方法の提案や情報の発信をするように心がけていて、特に治療そのものだけでなくケガの予防ができるよりよい環境づくりに力を入れて取り組んでいます。



高岡 亜也子
Takaoka ayako

- 2017年4月新卒入社
- 担当事業
明光ワークス自立訓練
支援員



倉狩 妙子
Kuragari taeko

- 2015年4月入社
契約職員→正規職員
- 担当事業
地域生活総合支援センター いま
看護師

通じて自分も変わる

福祉サービスの横断的な経験が、 先を見通す視点につながった。

私は新卒で大阪府障害者福祉事業団に加わりました。大学でもいろいろなことを学びましたが、やはり実際の活動の中で学ぶことは、知識が深まることばかりでした。特に私の場合は、幼児から高齢者までライフステージに応じたサービスの経験を積ませてもらい、より「今も、これからも、必要なことはなにか?」を考える力がついていきました。



平井 準起
Hirai Junki

- 2012年4月新卒入職
- 担当事業
地域生活総合支援センター あい
こども発達支援センター 風
児童発達支援管理責任者

年々責任感は強くなり、 周りとの関り方が変わります。

若い間は自分でなんでもできると思っていましたし、会議の場でもある意味気軽にどんどん発言をしていました。手本を見せてくれる先輩たちがいた安心感もありました。しかし、経験を積んでいくうちに、後輩もでき、役割も重要になっていく中で日々仕事への責任感が強くなっています。周りとの会話を増やし、助け合える環境をつくることに今は注力しています。



岡本 伸光
Okamoto nobumitsu

- 2005年11月入職
契約職員→正規職員→主査
- 担当事業
障害者支援施設 かつらぎ
支援員

15

 社会福祉法人
大阪府障害者福祉事業団

〒584-0054
大阪府富田林市大字甘南備216

法人事務局
TEL:0721-34-2180
FAX:0721-34-2121

16